

マテリアル反応工学分科会

設置趣旨

従来、材料製造プロセスは、原料からいかに効率よく安価に製品を製造するかという経済の原理に基づき研究・開発されてきた。しかしながら現在、日本では2050までにCO₂排出量を80%削減(2013年度比)を目標としているため、脱炭素化、自然エネルギーの積極的利用、資源リサイクルといった持続可能な開発目標(SDGs)を意識した新しいプロセスの開発が必要とされており、今後は地球環境に配慮した材料製造プロセスに転換が進められていくと考えられる。そのことをうけて本分科会では、

- (1)脱炭素化・水素利用など地球環境保全のための要素技術
- (2)材料製造プロセスにおけるCO₂排出抑制技術
- (3)材料製造プロセスに関わる熱力学・輸送現象論
- (4)廃棄物を含む有価資源のリサイクル
- (5)マテリアル設計に関する新規計測・解析・制御技術とシミュレーション
- (6)マテリアル設計・プロセッシングの基礎と応用、

に関して、マテリアル、反応プロセス、反応制御、環境をキーワードとして、専門分野にとらわれずさまざまな分野の会員に参加していただき、研究会や懇談会・セミナー等の開催を通して、新たな視点からのアプローチを探索する。

